

記入例

No.1 **流山市個別の指導計画** 令和元年 5月 ○日記入
 1年 A学級 氏名 千葉 一郎 記入者氏名(A学級担任 流山 次郎)

支援が必要と思われる状況及びこれまでの取り組み・通級指導教室での支援			
支援が必要と思われる状況 ・学習中、集中力が切れ、気持ちが苛立ち離席を望む際、担任に申し出る。介添員がいる時には、介添員に伝える。 *どんなとき、どんな場面でどのような支援が必要か合理的配慮を含めた内容を記入する。			
これまでの取り組み ・座席を前にし、担任が教示を短くし、随時声をかけて指導できるようにした。 *校内委員会での話し合いや担任が配慮してきたことを記入する。			
他機関・通級指導教室での支援 ・学校の言語通級指導 ラ行、ダ行の区別ができないため舌の動かし方のトレーニングを受ける。 *医療機関、スクールカウンセラー、児童相談所等との連携による支援等についても記入する。			
長期目標(令和元年度)(1年間の目標 行動で評価できる具体的目標を設定する) ・苛立つ気持ちを落ち着かせる方法を自立活動の時間でトレーニングし、納得できないことや不安なことがあっても、適切な行動をとることができるようにする。 ・自分の持ち物の管理ができる。 ・苦手とする教科でも、学習活動に参加し、課題に取り組む。			
短期目標(令和元年度1学期)(長期目標を達成するための短期目標を設定)			
	目標	具体的な手立て	評価・課題
生活面	・苛立つことがあっても気持ちを落ち着かせ、離席せずに済むようにする。 ・声をかけられたら使った物を決まったところに返すことができる。	・苛立ちやすい場面になる前に、あらかじめ冷静になるための対処方法を伝え、「先生に伝える。」「深呼吸をする。」「水を飲む。」などの行為をしやすい環境を整える。 ・自分の持ち物を管理しやすくするために、環境調整に努める。(分類箱の準備、品物マークの活用)	・苛立つ前に、先生や介添員に気持ちを伝え、気持ちを落ち着かせようとする行為が増えてきた。 ・品物のマークに興味を持ち、声をかけられると片付けができてきた。
	*「生活面」に人間関係(コミュニケーション)の内容の目標も記載する。		
学習面	・2年生までの漢字を読める。 *長期の目標を元に、学期ごとや前期後期に分けて目標を設定する。	・似ている漢字から正しい漢字を選ぶ練習する。(ipadの活用) ・ドリルを拡大コピーし、文字を見やすくする。 *ここに合理的配慮等も盛り込む。	・漢字の読みは8割程度できてきた。 ・ipadの活用は効果的であり、漢字をなぞり書きのアプリにも取り組むことができた。
	・3年生の計算(3桁の繰り上がり繰り下がり)ができる。	・ノートのマスが大きくなることにより、位を意識して筆算をしやすくする。	・3桁の繰り上がりのある加法の計算ができるようになった。

※上記に記載されている内容について、同意します。

令和×年×月×日

*記載事項の内容を確認した上で、保護者に署名をしていただく。保護者名 千葉 花子 千葉

◎保管は、保護者や本人です。進級進学時に担任や通級の担当者に、保護者や本人が提示してください。
 尚、保護者、本人の同意のもと、支援関係者とこの計画に記載されている情報を共有してください。

